

# お元気ですか？

ogenkidesuka

第72号

公立富岡総合  
病院ニュース

院長 新年のご挨拶

インフルエンザの流行時期になりました

職場紹介 放射線技術科

院内面会制限・クリスマスコンサートについて

地域医療連携だより

撮影者:黒澤恵子



発  
行

富岡地域医療事務組合

公立富岡総合病院

〒370-2393 群馬県富岡市富岡2073-1

☎ 0274-63-2111 📠 0274-64-1406

✉ tomihp@mail.gunma.med.or.jp

🌐 <http://www.tomioka-hosp.jp>



# 新年のご挨拶

公立富岡総合病院  
院長 佐藤 尚文

明けましておめでとうございます。お元気ですかの読者の皆さんはどんな新年を迎えられましたか？今年には2016年、平成28年、昭和でいえば91年となります。なぜ昭和を持ち出したかというのと、当院を受診される患者さんの9割が昭和生まれで、かつ書類など生年月日を記載する場合、西暦よりも圧倒的に年号を用いる場合の方が多いのです。したがって、自分や家族の年齢を計算する場合、昭和91年の方が便利ですが、勿論計算などしなくても自分や家族の年齢が言える人には関係のない話でした。

さて今年はどうなるのでしょうか？昨年はISによる日本人殺害事件という悲惨な出来事が始まり、世界中にテロという暗雲がたちこめた1年でした。一方で大村智さんのイベルメクチン、梶田隆章さんのニュートリノ振動で二人の日本人にノーベル賞が授与されたことは明るい

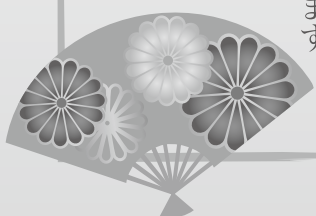
ニュースでした。さらに小惑星RYUGUを目標して「はやぶさ2」の打ち上げと地球スイングバイが成功したこと、金星探査衛星の「あかつき」が5年の歳月をかけて、金星を回る軌道に投入されたことは、日本の技術力とともに世界に誇れるニュースでした。残念ながら人間社会というのは有史以前から殺人や戦争など物欲や支配欲、嫉妬心から生まれる戦争の歴史でした。一方で科学という知的好奇心を持ち、芸術という高尚な精神活動を継続してきたのも人間です。人間とは一体なんなのか？これは極めて大きな深い問題です。それを知ることと理解することは私たち一人一人の人生をより実りの多いものに導いてくれる可能性がありま

すし、一方で過小評価をすること、自己否定や自己嫌悪につながりかねないのです。  
病院は病気の治療をする所、臓器の治療をする場所だと思われ

ています。もちろんそうなのですが、しかし年齢とともに不可逆的な変化も顕著となり、治せない状況になってやがて死を迎えます。治せる状態であれば治療して治すことには異論はありません。問題は治せない状況における医療の役割です。治せない状況における医療とは何か？これを多くの方々に投げかけた問題だと思います。色々な意見があります。立場によって意見が変わる場合もあります。しかし、苦痛を軽減すること、生活の質を保つこと、そしてフェアであること、さらにその人らしい穏やかな最期を迎えることは、社会のコンセンサスを得るべき事項だと思います。人間しか持ち得ない感性と哲学の世界です。御家庭でも職場でも、また様々な組織内でも深い討論を重ねて頂きたいと思います。

さあ、始めましょう、

Let's begin together!



# インフルエンザの 流行時期になりました

内科 武井 宏輔

2009年日本でも流行した  
新型インフルエンザ（H1N1）  
も記憶に残る中、今年もインフル  
エンザの流行時期になりました。  
今回は皆さんもご存じのことか  
と思われませんが、インフルエンザ  
に関してのお話を少しばかりさせ  
て頂きます。

インフルエンザはA型、B型、  
C型と大別されますが、季節性に  
流行するのはA型とB型と言わ  
れています。単なる風邪とは程度  
が異なり、頭痛や倦怠感、関節痛  
高熱などの症状が目立ってきま  
す。今は治療法が確立されており、  
一般的には抗ウイルス薬投与を行  
い数日〜1週間もすれば完治する  
ものですが、高齢者や免疫能が  
低下している方では他の感染症と  
併発し重症化してしまうことも  
しばしばみられます。また、過去  
の事例では1918年スペインイ

ンフルエンザ、1957年アジア  
インフルエンザなど新型インフル  
エンザの猛威により数千万人の死  
者が出てしまったこともありま  
す。

インフルエンザワクチン接種に  
関して、年齢層や併存疾患におけ  
る予防的効果の有無など様々な  
研究や論文で議論されておりま  
す。現在、高齢者を除く一般成人  
においては、ワクチン接種の感染  
予防、重症化予防には一定の効果



があることが示されておりま  
す。しかし、ワクチンを接種したから  
必ず安全というわけではなく、や  
はり手洗いやうがい、マスクの着  
用、インフルエンザ発症者との過  
度な接触を極力回避するなど、一  
般的な感染予防が何より重要と  
考えられております。日々の生活  
で改められるところがあれば是非  
生かして頂ければ幸いです。

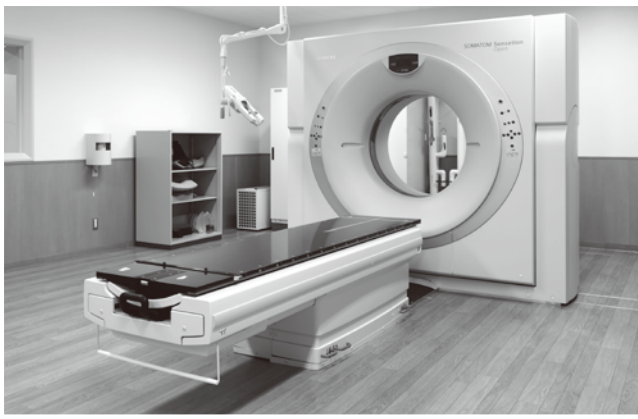


## 職場紹介 放射線技術科

診療放射線技師 小早川俊明



診療放射線技師15名が勤務しています  
放射線技術科についてご紹介します。



位置決め用CT装置

肺や骨などのいわゆるレントゲンと呼ばれる一般撮影があります。なにかと話題のマンモグラフィでは断層撮影機能を搭載した装置で、マンモ認定技師の女性技師が担当します。

一般撮影が静止画としますと、動画を観察できる透視撮影装置（保存は静止画です）や血管撮影装置があります。バリウムを飲む胃透視撮影の他に、各科医師が行う検査や治療の主に画像関係のサポートを行います。

体内の断面画像などと言われる撮影には、X線CT検査やMRI検査があります。X線CT検査では撮影の他に、必要に応じていろいろな方向の断面画像や3D画像の作成を行います。医療被ばくの報道など耳にすることもあるかと思いますが、基準値に沿った対応をしています。MRI検査は磁場と電

波を利用した、金属を持ち込めない、騒音がするなどと言われる検査です。いろいろな撮影方法があり、目的に応じて使い分けれます。どちらの検査も画像の自由度が高い反面、提供する画像に知識の差が出やすい検査といえます。

これまでに紹介しました検査は主に形態を目的とした画像になります。機能が目的とした画像として放射性医薬品を使用したRI検査があります。当院ではSPECT/CT一体型の装置を稼働させています。機能画像であるSPECT画像だけでなく、形態画像であるCT画像を同じ状態で撮影することにより、両者を融合させた画像を提供します。

放射線治療では、リニアック装置を用いての放射線外照射や放射性医薬品を用いての放射線内用療法があります。放射線外照射では医

師の治療計画を元に照射を行うだけでなく、計画通りに行えるよう品質管理も重要な業務になります。放射線内用療法では骨転移に伴う疼痛の緩和目的にストロンチウム89の注射が行われますが、その管理などを担当します。

放射線や大型機器、検査方法など不安が募る要素のある部署ですが、不安を軽減していただければという丁寧な対応に努めていきたいと思っています。



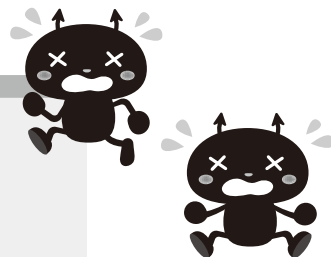
放射線治療装置

## 院内全体面会制限のお知らせ

インフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症が流行する季節となりました。患者の安全を第一に考え、流行時期が過ぎるまで院内全体で面会制限をしています。

入院患者がインフルエンザやノロウイルスなどの感染症に感染すると重篤な症状を招く危険性があります。

- ☑ ご家族の方は面会許可証を持参し、病室へ入るときは必ず手指消毒・マスクの着用をしてください。
- ☑ ご家族以外の方の不要不急の面会をご遠慮ください。
- ☑ お子様は感染の危険がありますので、お連れにならないでください。
- ☑ ご家族の方でも、発熱・咳・下痢・嘔吐などの症状がある場合は、面会はお止め下さい。



院内感染予防のため、ご理解ご協力をお願いします。

## クリスマスコンサート



昨年12月23日14時から当院エントランスホールにおいて、リリコ・スピラーレ、県立富岡東高等学校音楽部、下長根コーラス及び富岡オカリナクラブの皆さんによる～みんなの心をつなぐ楽しいコンサート～が開催されました。

優しい風とともにフルートの音色がホールいっぱいに広がり、女子高生の美しい歌声に包まれ、豊かなハーモニーとともに、心地よい時間を過ごすことができました。また、同日、18時30分から甘楽教会愛光会の聖歌隊による慰問が行われました。気品高い賛美歌が病棟を包み、入院患者へやすらぎをもたらしてくれました。



# 地域医療連携だより



## コミュニティカンファレンスを開催しています

近隣の医療機関・介護・福祉施設のスタッフと定期的にカンファレンスを行っています。日頃から顔の見えるお付き合いをすることにより、地域住民がいつでも安心して支援を受けられるような仕組みづくりに取り組んでいます。



## 公立富岡総合病院研修会のお知らせ

### ● 医療従事者研修会

日時 1月29日(金) 18時～20時30分

第1部 「当院での化学療法の実際」

講師 公立富岡総合病院薬剤部 齋田 和江・新行内 亮

第2部 「がん放射線治療について」

講師 群馬大学大学院 腫瘍放射線学教室 清原 浩樹 助教

多数の参加  
お待ちしております

### ● 緩和ケアネットワーク「ケアカフェとみおか」

日時 2月19日(金) 19時～20時

参加対象者 介護・福祉・医療に従事している方

お問い合わせ先

公立富岡総合病院 患者支援係(がん相談支援センター)

TEL.0274-63-2111 FAX.0274-64-1406

E-mail tomihp@mail.gunma.med.or.jp

